

総合人文科学研究センター 活動報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

現代日本における「信頼社会」再構築のための総合的研究

2015年4月18日(土)

【主催】第一回「信頼社会」研究会

畑山要介 「共有モデルと架橋モデル——フェアトレード論争に見る2つの信頼モデルの相克」

藤本一勇 「高度技術社会における信と知」

2015年6月20日(土)

【主催】第二回「信頼社会」研究会

御子柴善之 「『信頼回復』という問題」

森由利亜 「信と善と社会：前近代中国思想と『信頼社会』」

2015年10月17日(土)

【主催】第三回「信頼社会」研究会

高橋敏夫 「『なかま』の誕生—山本周五郎文学から学ぶこと」

平野寛弥 「『多様な互酬性』論の可能性」

2016年2月2日(火)

【主催】シンポジウム「テロリズムを考える—デリダ、ドゥルーズ、レヴィナスの哲学から—」

渡名喜庸哲 「レヴィナスから」

鈴木泉 「ドゥルーズから」

藤本一勇 「デリダから」

総合討議および質疑応答

比較文学研究室

2015年5月16日(土)

【主催】国際シンポジウム「激石の現代性を語る—残後100年、生誕150年の記念年に向けて—」

総合司会：鳥羽耕史

第一部 講演 激石へのアプローチ

源貴志 「激石とロシアの世紀末文学—「それから」の周辺—」

小山慶太 「激石の科学への関心」

第二部 国際シンポジウム「明暗」の言語宇宙

基調講演 エマニュエル・ロズラン／朴裕河／堀江敏幸／蜂飼耳

パネルディスカッション

エマニュエル・ロズラン 朴裕河／堀江敏幸／蜂飼耳／源貴志／小山慶太

司会：中島国彦

2015年7月29日(水)

【主催】月例研究発表会(第219回)《翻訳と翻案をめぐって》

堀内正規 「北村太郎の『ふしぎ、の国のアリス』翻訳」

柿谷浩一 「ドラマ化を／と《読む》—『アルジャーノンに花束を』原作と野島伸可版の比較分析」

2016年3月

機関誌「比較文学年誌」第52号の刊行

研究論文4篇、研究ノート3篇、全121ページ

国際日本学共同研究部門

【部門全体の活動】

2015年7月28日（火）

研究打合せ会議（当研究部門構成員のみ）

2015年9月10日（木）

本文校訂論についての討論会（当研究部門構成員および学外研究者）

【部門構成員による個別活動】

2016年1月19日（火）

リチャード・ペーニャ（コロンビア大学教授）講演会

「異なる国に寄せる波フランス、ブラジル、日本のニューシネマの比較」

2016年2月

日本古典籍研究所主催ワークショップ

2016年3月5日（土）

平安朝文学研究会研究発表会

イメージ文化史

2015年5月22日

【主催】連続ワークショップ『マンガ、あるいは「見る」ことの近代』第4回

細馬宏通 「フキダシと時間」

2015年6月19日

【主催】連続ワークショップ『マンガ、あるいは「見る」ことの近代』第5回

石岡良治 「マンガにおける「反復」と「深淵」の効果」

2015年7月25日

【主催】連続ワークショップ『マンガ、あるいは「見る」ことの近代』

第6回「ストーリーマンガにおける「ナレーション」」

森田直子 「フキダシのないストーリーマンガ—19世紀ヨーロッパを中心に」

佐々木果 「フキダシの流行と「語り」の問題—1920～30年代の日欧米」

2015年10月23日

【主催】連続ワークショップ『マンガ、あるいは「見る」ことの近代』第7回

泉信行 「漫画を「見る」という現象：人間とメディアムを中心として」

2015年11月21日

【主催】連続ワークショップ『マンガ、あるいは「見る」ことの近代』第8回

「見る」ことの近代とは何か

中田健太郎 「視覚的語りの近代—「読む」ことと「聞く」こと」

伊藤剛 「多段階フレームでマンガをとらえる—「コマわり」から「目の光」へ」

夏目房之介 「表現論」から20年—マンガと近代について考えること」

鈴木雅雄 「観察者の行方—ポスター、絵本、ストーリー・マンガ」

グローバル社会における多元文化学構築

2015年6月20日（土）

【共催】シンポジウム「私にとってのアメリカ音楽」

ニコラス・O・ユングハイム 「バンジョーと私のアメリカ音楽」

ジェイムス・M・バーダマン 「白人と黒人の音楽」

村田薫 「ブルース音楽との出会い」

司会：大稔哲塩

2015年10月31日（土）

【共催】講演会

渡辺美季 「近世琉球の自意識と中国・日本」

2015年11月24日（火）

【共催】秋学期特別講演会

講師：〔演出家〕高橋正徳／〔俳優〕小林勝也／中村彰男／沢田冬樹／櫻井章喜／石橋徹郎／川辺邦弘／
上川路啓志／藤側宏大／采澤靖起／鈴木亜希子（以上、文学座）

題目：「詳説『白鯨』を舞台化する」

司会：〔翻訳者〕小田島恒志

2015年12月19日（土）～20日（日）

【共催】国際シンポジウム「東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—」

12月19日（土）

基調講演：小松和彦「自然災害と怪異伝承—「蛇抜け」伝説の考察—」

パネルディスカッション：司会 吉原浩人

増子和男 「魑怪異譚考—日中比較の立場から—」

小峰和明 「ものがモノになるとき—東アジアの怪異をめぐる—」

徳田和夫 「妖怪・モンスターと〈鏡〉」

陳小法 「妖魔化した関白—明清文人の豊臣秀吉観—」

魯成煥 「越境する日本の妖怪—韓国の九尾狐と日本の雪女—」

12月20日

研究発表1／青年論壇

司会：河野貴美子

肱黒正子 「キャラクター論から見る現代の妖怪—ポケモンは妖怪か—」

崔鵬偉 「節分の百鬼夜行—室町時代の文献を中心に—」

石津亜美 「江の島弁才天と龍口明神—教化される龍と教化する龍—」

荒川聡美 「善悪報譚」という方法—『日本霊異記』の説話をめぐって—
 関千亜紀 「再生譚に表れる日本と中国の魂と肉体観」

研究発表 2/一般発表

司会：陳小法

朴淳希 「韓国の茶神になった中国の妖怪」
 城崎陽子 「歌聖の創造と祭祀—柿本人麿を事例として—」
 岡部明日香 「日本における楊貴妃怪異説—台北故宮博物院本『歌行詩』『長恨歌』書き込みから考察—」

研究発表 3/一般発表

司会：魯成煥

柳川響 「『変化』考—『古今著聞集』の天狗詠歌譚をめぐって—」
 田村航 「一条兼良と「鬼」」
 洪明嬉 「金東里『巫女図』と芥川龍之介『おぎん』における習俗とキリスト教との葛藤—韓日の信仰観・家族観比較を視点として—」
 小松麻美 「韓国の絵本にみるトッケビのイメージ—描写と翻訳をてがかりに—」

東アジアの人文知

2015年7月24日（金）

梁鴻氏講演会「文学は如何にして現実に立ち返るか——梁荘と中国」

【主催】早稲田大学大学院文学研究科中国語中国文学コース

* 共催：総合人文科学センター研究部門「東アジアの人文知」
 早稲田大学中国現代文化研究所

2015年7月29日（水）

第1回国際フォーラム「越境する人文知」

【主催】総合人文科学センター研究部門「東アジアの人文知」

蒋蓓 「名詞修飾成分の生起順序について」
 ケンダル・ハイツマン 「安岡章太郎と戦後における幕末—『アメリカ感情旅行』を中心に—」
 陳力君 「中国現代小説の貧困テーマを読み解く（解读中国现代小说的贫困主题）」
 宮浩宇 「戦前の南京国民政府における映画検閲制度新考」（战前南京国民政府电影检查制度新考）」
 段書暁 「列強の表象——第一次世界大戦時期の「東方雑誌」を読む」
 王基倫 「漢語の音声リズム：古代散文と現代散文（漢語的聲音節奏：古代散文與現代散文）」
 趙鉄鋡 「日本所蔵の『七如居士所繪戲劇八齣』および作者の會衍東について」
 （日本所蔵『七如居士所繪戲劇八齣』及其作者會衍東）

2015年12月2日（水）

第2回国際フォーラム「越境する人文知」

【主催】総合人文科学センター研究部門「東アジアの人文知」

劉晏 「証拠性モダリティ表現について」
 ペドロ・エルバー 「経済化する美術から美学化する経済へ」
 張広海 「魯迅と早期左連の関係について」
 自由討論

2016年1月17日(日)

国際シンポジウム「1980年代サブカルチャー再訪——アジアを貫く若者文化の起源——」

【主催】：早稲田大学文学学術院・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生」

*共催：総合人文科学研究センター研究部門「東アジアの人文知」

総合司会：藤本一勇

開会の辞：千野拓政

第一部：1980年代ポップスの世界

牧村憲一 「80年代の70年代」

鈴木惣一郎 「90年代の80年代」

チャ・ウジン 「20世紀のノスタルジアはいかに21世紀音楽市場の支配力を持ったのか
——韓国若者文化、ソーシャルメディアそしてK-POP」

林ひふみ 「1980年代北京：ロックの萌芽と改革開放」

第二部：1980年代マンガの世界

とり・みき 「80年代の個人的マンガ家活動から見たオタクとサブカルチャーの分化」

宮沢章夫 「岡崎京子で読む80年代、90年代」

第三部：パネルディスカッション

司会：小沼純一

牧村憲一／鈴木惣一郎／チャ・ウジン／林ひふみ／とり・みき／宮沢章夫／千野拓政

トランスナショナル社会と日本文化

2015年9月9日(水)

【主催】「科研：既存荘園村落情報」キックオフ・シンポジウム

「既存荘園村落情報に関するクラスターモデルの構築に向けて」

白川宗源 「美濃国大井荘・茜部荘の文書資料リストについて」

田島公 「古代美濃国荘園公領関係史料の再検討と条里・荘域復原研究の現状
—安八郡東大寺領大井荘成立の歴史的背景を中心に—」

出田和久 「奈良盆地の条里・条坊史料とGIS利用の可能性」

海老澤衷 「国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査とデジタルアーカイブ」

総合討論

2015年12月5日(土)

【主催】シンポジウム「朝河貫一と日本中世史研究の現在」

*主催：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」、スーパーグローバル大学創成支援事業・国際日本学拠点、角田柳作記念国際日本学研究所

後援：朝河貫一研究会

佐藤雄基 「日本の中世史研究からみた『入来文書』」

似鳥雄一 「越前牛原荘の研究と朝河」

中村治子 「朝河の史料収集および朝河文書の紹介」

パネルディスカッション：海老澤衷／佐藤雄基／似鳥雄一／中村治子／近藤成一／甚野尚志

仏教文明と東アジアの地域文化研究

2015年6月27日(土)

【主催】「唐草文の新研究」講演会

姜友邦 「唐草文の新研究」

2015年12月19日(土)

【主催】特別研究集会「長屋王その後～和銅・神亀経を追う」

*後援：早稲田大学重点領域研究機構

招聘講演：鈴木景二「平安時代以降の長屋王の記憶」

調査報告：岩本健寿「長屋王発願経の調査と新資料紹介」

総合討論：鈴木景二 岩本健寿 新川登亀男 小川宏和

社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ

2015年10月31日(土) 14:00～17:00 戸山キャンパス31号館104教室

【主催】第1回公開講演会「社会の複雑化と縄文時代研究」

趣旨説明：大網信良(早稲田大学)

公開講演：大塚達朗(南山大学)「“縄文式階層化社会”の意義を考える—縄紋文化の脱構築のために—」
質疑応答

コメント：高橋龍三郎(早稲田大学)

2016年2月20日(土) 13:00～18:00 戸山キャンパス36号館681教室

【主催】シンポジウム『権力の誕生—儀礼・祭祀からみる古代文明形成の考古学的アプローチ—』

開会挨拶：近藤二郎(早稲田大学)

発表1：城倉正祥(早稲田大学)「平城宮・京の思想と象徴性—漢唐都城との比較から—」

発表2：久保田慎二(東京大学)「中国新石器時代末期から初期王朝時代における権力の出現過程」

発表3：上杉彰紀(関西大学)「インダス文明社会の地域構造—広域社会の存立原理を権力構造から考える—」

発表4：小高敬寛(東京大学)「西アジアにおける儀礼・祭祀の顕在化」

発表5：安倍雅史(早稲田大学)「葬制から見た古代ディルムンにおける権力の発生」

発表6：馬場匡浩(早稲田大学)「儀礼・祭祀にみるファラオの起源」

発表7：長屋憲慶(金沢大学)「稀少石器の消長にみるエジプト文明形成期のエリート層」

ディスカッション：発表者全員

コメンテーター：高橋龍三郎(早稲田大学)・小泉龍人(国士舘大学)

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

2015年4月25日(火)

【共催】研究会

*シニア社会学会「災害と地域社会」研究会と連携

星野英紀 「震災の復旧・復興と宗教文化の行方—福島県を中心として—」

2015年10月28日(水)

【共催】研究会

*地域社会と危機管理研究所との共催

野坂真 「岩手県大槌町における東日本大震災前後の災害過程

—津波災害史と地域開発・復興史からの捉え直し—」

2015年11月14日(土)

【共催】シンポジウム「あれから5年～わたしたちはフクシマを忘れない～」

*シニア社会学会との共催

座長：長田攻一

川副早央里「被災状況が重層する地域で求められる支援—震災アーカイブの取り組みから考える—」

佐藤緑 「取り残される被災者とともに歩んだ、NGOとしての支援活動」

平山勉 「双葉郡住民としてのリアリティ」

コメンテーター：伊藤まり／浦野正樹

2015年10月24日(土)

【共催】「支援のための実践力アップセミナー」

講師：高井正

2015年12月12日(土)

【共催】「支援のための実践力アップセミナー」

講師：熊谷真弓

2016年1月30日(土)

【共催】「支援のための実践力アップセミナー」

講師：山田恵子

知の蓄積と活用にむけた方法論的研究

2015年9月19日(土)・20日(日)

【後援】第88回日本社会学会大会

2016年1月7日(木)

【主催】第7回部門研究会

Bernard Thomann “Primary and Secondary Sources for a Long History of Occupational Health in Japanese Mining History”

和文タイトル：「日本鉱業における労働衛生史に関する一次・二次資料」

2016年1月27日(水)

【主催】第8回部門研究会

梅崎修 「労働史オーラルヒストリー・アーカイブの試み

—映像化の取り組みと資料の利用可能性を中心に—」

行動・社会・文化に関する多角的アプローチ

2015年11月14日(土)

【共催】第19回 早稲田大学心理学会 公開教養講座

「アドラー心理学入門～劣等感／ライフスタイル／勇気づけ」

ヨーロッパ基層文化の学際的研究

2015年4月18日(土)

【共催】研究会「ゴシック期ヨーロッパにおける知と芸術」

佐藤ヴェスィエール五郎「トラヴェールの作品校訂に関する問題：ペラン・ダンジクールの例（13世紀半ば）」
武田啓佑 「調和をもたらす王」と音楽の隠喩：リチャード2世治下のイングランドにおける君主鑑と王権」
若松功一郎「エックハルト思想における〈中間のもの〉(medium) 概念と〈離脱〉」

2015年11月7日(土)

【共催】研究会「中近世ヨーロッパにおける聖職者と民衆の対話—伝統と革新」
赤江雄一 「イングランド農民反乱におけるジョン・ボールの「説教」再考」
久保田静香「「イエズス会のレトリック教育とプロギュムナスマタ（予備練習）の伝統—デカルト『方法序説』から出発して」

角田柳作記念国際日本学研究所

2015年7月9日(木)・10日(金)

【主催】マイケル・K・ボーダッシュ（シカゴ大学教授）講演会
7月9日：「1950年：「東京ブギウギ」が太平洋を渡った年」
(1950: The Year 'Tokyo Boogie Woogie' Crossed the Pacific) 〈英語による〉
7月10日：「崖の下の家、影の中の人—夏目漱石『門』と意識の流れ」〈日本語による〉

2015年7月10日(金)

【主催】『於于野譚』研究会
朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2015年7月30日(木)

【主催】ジェイ・ルービン・柴田元幸公開講演会
「日本文学を読む、訳す、書く—漱石、芥川、村上春樹、その先へ—」
*主催：スーパーグローバル大学創成支援事業 日本文化学拠点、早稲田大学文化推進部
協力：新潮社
第一部：ルービン氏、柴田両氏の講演
第二部：両氏の対談

2015年10月2日(金)

【主催】『於于野譚』研究会
朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2015年11月13日(金)

【主催】『於于野譚』研究会
朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2015年12月4日(金)

【主催】『於于野譚』研究会
朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2015年12月5日(土)

【主催】シンポジウム「朝河貫一と日本中世史研究の現在」
*主催：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人

文学の危機と再生一」、総合人文科学研究センター研究部門「トランスナショナル社会と日本文化」、
スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、

後援：朝河貫一研究会

佐藤雄基 「日本の中世史研究からみた『入来文書』」

似鳥雄一 「越前牛原荘の研究と朝河」

中村治子 「朝河の史料収集および朝河文書の紹介」

パネルディスカッション：海老澤衷／佐藤雄基／似鳥雄一／中村治子／近藤成一／甚野尚志

2015年12月12日（土）

【後援】2015年東アジア古代学会秋季学術大会（第59回）

東アジア古代学会・早稲田大学日本古典籍研究所共催国際シンポジウム

「人類共有資産としての東アジア文史哲」

*主催：東アジア古代学会、早稲田大学日本古典籍研究所、東国大学 LINC 事業団

主管：東アジア古代学会

後援：日本早稲田大学スーパーグローバル大学創成支援事業

*於東国大学校（韓国・ソウル）

基調講演：李基東／金蓮姫／河野貴美子／梁燕／金廷玟

ほか：41名の研究発表と討論

2016年1月15日（金）

【共催】“Reading *The Tale of Genji* : Sources from the First Millennium” 出版記念講演会

*主催：スーパーグローバル大学創成支援 国際日本学拠点

講演：伊井春樹

ほか：編者ハルオ・シラネ、トーマス・ハーパー両氏からの挨拶

2016年1月19日（火）

【主催】リチャード・ペーニャ（コロンビア大学教授）講演会

*主催：スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、早稲田大学総合人文科学研究センター

「異なる国に寄せる波 フランス、ブラジル、日本のニューシネマの比較」

2016年1月22日（金）

【主催】『於于野譚』研究会

朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2016年2月4日（木）・5日（金）

【主催】国際シンポジウム「東アジアのメモリーレジームの変革と記憶の行為者」

*主催：スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点

共催：早稲田大学地域・地域間研究機構

2月4日

基調講演：キャロル・グラック “The politics of memory in Global context”

報告：タケナカ・アキコ “Mobilizing Death, Mobilizing Memories:

Bodies and Spirits of the Modern Japanese Military Dead”

（アジア・太平洋戦争期における戦死者慰霊のかたちとその記憶の政治化をめぐって）

梅森直之 「戦後日本における記憶レジームの生成と変容」

林志弦 “Victimhood Nationalism and Apologetic Memories in the Global Memory Space”
(グローバル記憶空間における犠牲者意識、民族主義—批判と弁明の間で)

2月5日

総合討論：キャロル・グラック／タケナカ・アキコ／梅森直之／林志弦／岩崎稔／成田龍一／野口真広／
李ヨンジェ／趙寛子／浅野豊美／李成市

2016年2月20日(土)

【主催】『於于野譚』研究会

朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催

2016年3月11日(金)

【主催】An International Workshop “Rethinking Japanese Literary History : Periodization, Genre, and Media”

*主催：コロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センター

*於コロンビア大学 Kent Hall (米国・ニューヨーク)

基調講演：ミホコ・スズキ

研究発表：李成市／長島弘明／小峯和明

ほか：ラウンド・テーブルなど5つのセッション

2016年3月16日(水)

【主催】ACTING OUT : PERFORMATIVE READINGS FEATURING TAWADA YŌKO AND MATSUNAGA MIHO

*主催：柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト、スーパーグ
ローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点 ほか

*於カリフォルニア大学ロスアンジェルス校 Fowler Museum Amphitheater (米国・ロスアンジェルス)

朗読パフォーマンス：多和田葉子／松永美穂／UCLAの大学院生ら

2016年3月17日(木)・18日(金)・19日(土)

【主催】Imagining the World in Premodern Japan (前近代日本における《世界》の想像)

*主催：柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト、スーパーグ
ローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点 ほか

*於カリフォルニア大学ロスアンジェルス校 Royce Hall (米国・ロスアンジェルス)

基調講演：李成市／ハルオ・シラネ

ほか：18名の発表とディスカッション